

2014年度 事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

1 事業の成果と課題

今年度は、長年当法人が仕事業務受託していた依頼先企業が財政難により、仕事量と合わせて受託事業費用が大幅に減額され、致し方ないこととはいえ、財政難に拍車がかかりました。Webサイト「食物アレルギー危機管理情報(FAICM)」の再構築と合わせて、新規事業の拡大に取り組んでいますがまだ追いついていません。次年度はさらにこの事業を中心に事業拡大に務め、何とか財政難の乗り切りたいと考えています。

毎年同じようなことを記載します。

どこかの誰かができること、誰でもできることをやるよりは、当法人だけができる事業を開発し展開したいと考えています。多くの社会的課題について、解決するための試みがちゃんと社会にあたっているのか。解決に向かっているのかということ、検証・批評しながら今後も活動を行っていく予定です。

これも毎年書いていることですが、電話相談窓口開設の意図を述べて報告終わります。

「正しい解(答え)」がない相談を旨としています。かといって、ただ物事を相対化するだけではありません。相談活動は、自身で問題の解決に向かうための伴走者の役割しかできないだろうと考えています。「治療に合わせた患者」を作ることにはあまり意味がないとも思っています。本来的・根源的な意味で「マイノリティ(少数者)や困っている人に寄り添うこと」、「利他的」であることを旨として、様々な活動を今後も、模索し展開していきたいと考えています。

ここで記述しきれないことは、別な方法で報告していきたいと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
電話相談	<p>・電話相談窓口開設 アトピー・アレルギー性疾患などに関わる相談を受け、相談者に寄り添い暮らし方のアドバイスをした。「正しい答え」を伝えるのではなく、相談者が自身で判断するための伴走者として当法人の電話相談窓口はある。</p> <p>当法人の電話相談は、東日本大震災で被災したアレルギー・災害弱者へも開かれている。また、育児放棄、虐待などで、親と一緒に暮らすことができない子どもを受け入れる里親・ファミリーホームなどからの相談も受け付けている。広く子どもが抱える課題解決に向けた里親親子応援プロジェクトでもある。</p> <p>・集中電話相談/アトピーアレルギーホットライン：上記と同じ内容で、開設時間を延長した。</p>	<p>毎週2日間、 木金曜日開設 (休日、8月休み) 11:00-12:00 13:00-15:00</p> <p>毎月第3木金 曜日10:00- 17:00</p>	法人事務所	4人	アトピー・アレルギー性疾患、化学物質過敏症患者及び一般市民 不特定多数	1096
調査研究	<p>・布団用掃除機の使用感調査 患者のQOL向上に資することを目的に実施した。 エコワン(株)協力事業。</p>	10月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	352
環境教育	<p>・夏休み環境教育キャンプ2014 食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎のある患者とその家族を対象とした体感型環境教育プログラムを提供した。「エピペン」(食物アレルギー緊急時治療用自己注射)持参の子どもも数多く参加。食事は「症状の重い」子どもに合わせてみんなで同じものを食べる試み(学校給食とは逆の発想)。アレルギーだけではなく「発達障害」などの多様な子どもの課題に対処。将来地域や仕事で患者を支援する立場になる、栄養士、保育士、教員、社会教育、医療系の学生や社会人がボランティアとして参加。次世代ボランティアを育成するためのインキュベート企画でもある。また、東日本大震災で被災したアレルギー患者家族5組13人を交通費半額補助、参加費無料で招待した。ファミリーホームの子ども達も招待した。</p>	<p>8月3日～5 日、ボランティア・スタッフは前日から参加</p> <p>ボランティア向け事前ミーティングを2回開催</p> <p>会場下見、備品点検を2回実施</p>	<p>神奈川県立藤野芸術の家</p> <p>地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)</p> <p>山梨県上野原市 法人事務所</p>	51人	アトピー・アレルギー性疾患患者とその家族及び一般市民95人	2518

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
環境教育	・秋山プロジェクト 人と自然の共生、身体と環境の関係を、山梨県旧秋山村の当法人拠点とその周辺をフィールドとして里山ウォーキング等を体験し学習する機会を提供した。アレルギー患者でも安心して参加できる企画である。	4月～3月 *5月、1月にプロジェクト開催	山梨県上野原市 法人事務所	7人	不特定多数	
情報提供	・アレルギー対応製品カタログの協力事業 アレルギー対応製品を選択せざるをえない患者が安心して商品選定ができるよう協力した。また、アレルギーや商品に関わる動向についてリサーチを実施した。らでいっしゅぼーや(株)協力事業。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	6607
	・WEBサイト「食物アレルギー危機管理情報」(FAICM=Food Allergy Information for Crisis Management)の運営 アレルギー混入事故食品に関する自主回収情報が、登録した食物アレルギー患者に直接届く、Webサイトを運用した。市民と企業による公共知の創造を目指している。また、本サイトの再構築と新たな事業展開に取り組んだ。	4月～3月	法人事務所	7人	不特定多数	
	・組織運営協力と情報誌制作 アレルギー表示の問題に取り組む組織の事務局運営に協力した。また、同組織が開催する「交流会」や「基礎講座」の事務局を務めた。NPO法人食物アレルギーパートナーシップ協力事業。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・アレルギー相談をテーマにした第2回事例検討会の開催 横断的に他組織・企業と事例検討をすることにより(市民)相談窓口の質的向上を目指す試み。報告集を作成した。	9月6日	連合会館 法人事務所	4人	不特定多数	
	・エピペン(食物アレルギー緊急時治療用自己注射)を所持する子ども達のための野外活動支援プロジェクト エピペンを子ども自身が持参し自己防衛と危機管理をするための「エピペン携帯ケース」を作成、販売した。学校行事や野外活動に安全に参加するために普及に努めたい。作成	4月～3月	法人事務所 山梨県上野原市 埼玉県さいたま市	7人	不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	にあたり、医師や患者家族からの聞き取り、15患者団体にモニターになってもらい意見集約を行なった。製品改善にも取り組みたい。また、「市民がつくるアレルギー対応のための参考資料2015(学校給食・緊急時シミュレーション)も作成した。ホームページ等で広く普及に努めたい。 助成：積水ハウス(株)、積水ハウスマッチングプログラムの会					
	・食品や農産物の営業用ガイドブックの制作協力 環境共生型商品の営業用ガイドブックを制作した。 パルシステム埼玉協力事業	10月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・NPO運営に関するコンサルティング 中間支援事業やアレルギーに関する事業のコンサルティングを行った。NPO法人セカンドリーグ埼玉協力事業。	4月～3月	法人事務所	2人	不特定多数	
	・依頼原稿執筆と書籍執筆 書籍執筆、依頼原稿執筆等、広く情報提供を行った。『学校給食アレルギー事故防止マニュアル 先生・親・子どもとはじめる危機管理』(合同出版)を、2014年4月刊行した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・執筆書籍の頒布 当法人が執筆した、『学校給食アレルギー事故防止マニュアル 先生・親・子どもとはじめる危機管理』(合同出版)、『食物アレルギーの基礎知識』(日本食糧新聞社)、『アトピー・アレルギー克服応援ブック』(合同出版)、『花粉症がラクになる』(コモンズ)、他執筆参画書籍を頒布し、広く情報提供を行った。	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	
	・ホームページの運用 活動内容の紹介等、広く情報提供を行った(オンラインクレジットカード、コンビニ等決済システム維持管理を含む)。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・相談データベースの構築 電話相談内容を記録集計し、広く社会化するためのデータベースの構築作業を行った。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・情報センター機能 マスコミ取材協力、企業・団体よりのインタビューや情報提供、研究協力等。また、各種情報誌、学会誌、書籍等を閲覧に供した。	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	
普及啓発	・講師派遣 アトピー・アレルギー性疾患と患者実態、災害支援活動、NPO法人運営、市民活動(運動)等に関する情報を、企業・団体・行政・学校等に提供した。	4月～3月 33回(当法人主催イベントを除く、すべての講師派遣)	依頼者が指定する会場	3人	不特定多数	717
	・食物アレルギー学習会「いざというときの備え」 大規模災害発生時に備えた食物アレルギー用災害食の試食会等の開催に協力した。 ASネット埼玉、NPO法人セカンドリーグ埼玉協力事業	1月24日	埼玉県さいたま市	3人	40人	
人材養成	・アレルギーサポーター養成講座と活動支援 アレルギーで悩んでいる患者とその家族を地域で支援する役割を担う人材を養成する講座の講師と組織運営支援を行なった。2012年度からの3カ年継続開催事業である。 NPO法人セカンドリーグ埼玉協力事業。	10月～1月 5回開催 2013年度同講座の卒業制作としてのレストランでの食物アレルギー対応食事会を6月8日開催	埼玉県さいたま市・蕨市 法人事務所	2人	不特定多数	801
	・企業・団体職員向け研修会 企業・団体の職員向け研修会講師を務め、人材養成に協力した。	7月16日 7月17日 12月25日	埼玉県さいたま市、静岡県富士市	2人	70人	
	・研修・実習生や事務所業務ボランティアの受け入れ 日本体育大学の実習生等を受け入れた。	4月～3月	法人事務所	3人	当該組織5人	
	・災害弱者支援リーダー育成プログラムの開発 大規模災害発生に備え、アレルギー・災害弱者や疾患や障碍のある人を支援することを目的にプログラムを開発。周囲にいる人々と協力してリーダーシップを発揮し問題解決できる人材を養成したい。次年度以降、本プログラムを広く普及したい。 (株)スプリングフィールド協働事業	4月～3月	法人事務所	2人	不特定多数	